

日南市収蔵飯田医院旧蔵和漢古書分類目録

妹尾好信

しっとりした風情のある城下町として知られる宮崎県日南市^{おび}飫肥。城跡からほど近い本町1丁目に旧飯田^{はんだ}医院の建物がある。大正11年(1922)に建築された木造2階建ての洋館で、レトロな町並みが続く中にあっても一際観光客の目を引いている。この医院は、旧佐土原藩の藩医であった飯田洞敬の三男飯田輝夫氏が大正6年(1917)に妻の母方^{もりなが}の生家守永家がある飫肥の地で開業した内科・小児科の医院である。輝夫氏は郷土史にも造形が深く、多数の古文書や郷土資料を蒐集したという。医院を継いだ飯田達夫氏も郷土史家として知られている。

その旧飯田医院が所蔵していた和漢古書200余点が飫肥城趾松尾の丸収蔵庫に保管されている。筆者はかつて日南市立図書館や飫肥城歴史資料館が所蔵する和漢古書を調査して目録を作成したことがある縁で、同市小村記念館等の学芸員である長友禎治氏の依頼を受けて同資料を閲覧調査する機会を得た。本稿は、その調査報告として、分類目録を作成して書誌情報を公開し、大方の利用に供するものである。

当該書籍は、江戸末期から明治中期頃までに刊行・書写された版本・写本群である。医家の旧蔵書なので医学関係の書が多いが、文学・歴史・漢籍等、ジャンルは多岐に涉っている。書き入れや蔵書印から判断して、中心を成すのは飯田洞敬の旧蔵書である。『宮崎県医史』(1978年 宮崎県医師会刊)によれば、洞敬は弘化3年(1846)1月生まれ、文久3(1863)年2月より慶応元年(1865)12月まで延岡藩内科医河野義貞、同藩外科医三浦玄昌に従い修業、慶応2年5月より6月まで西京高階丹後守に従い外科治療法を研究、同年7月より翌3年12月まで大阪漢方内科医華岡良平、同華岡寛平に従い活物窮理学を研究、明治2年(1869)3月より同5年5月まで鹿児島藩雇英医ウルエスに従い内外科眼科を修業の後、明治6年(1873)6月に自宅を開業、大正10年(1921)3月に死去、享年76という。

洞敬が書写した医学・薬学関係書には書写奥書が記されているものがいくつかある。例えば、74『瘍科方笈』には、「于時慶応二丙寅仲冬、於浪速中之嶋華岡積軒先生外塾楽天斎東窓之下写之」とあり、21歳だった慶応2年(1866)11月に大阪の華岡積軒のもとで書写したことを記し、83『産術秘要』には、「于時慶応三乙卯仲春初八日、於浪華華岡積軒先生之外塾楽天斎東窓之下急々写」とあって、翌慶応3年(1867)に同所で書写したことを記す。また、76『校定瘍科瑣言』には、「時ニ文久四甲子年春二月廿九日夜、於延岡中町雲琴台南楼窓下ニ写之」とあって、それより前の文久4年(1864)2月、19歳の時に延岡において書写したこと、90『貼膏攷』には、「于時元治元甲子年秋八月旬有三日、日向延岡城下中町雲琴室窓下ニ而同城下南町角自三浦玄昌夫子借り写ス」とあって、同年8月に同所において三浦玄昌の蔵書を借りて写した由が記されている。若くして医学の修業に励んでいた様子が窺われる。

このように、書写本の奥書や蔵書の書き入れによって洞敬の足跡を辿ることがある程度可能になり、また洞敬の号が「古雲堂」(「古雲洞」とも)であり、開業医としても「古雲堂薬局」を名乗っていたこと、その居所が佐土原の「八日町」であったことなどもわかるのである。三男輝夫氏が「探古堂」と号していたことも133『新方彙』の書き入れから知られる。佐土原・飫肥の医学史を知る貴重な資料群と言えよう。

〔凡 例〕

1. 本目録は、宮崎県日南市に寄託された飯田医院旧蔵の和漢古書類の分類目録である。
2. 当該図書群には江戸後期から明治初期頃までに書写・刊行された写本・版本の他、明治期の和装活字本や教科書類、まれに大正・昭和初期頃に出版された活字本や複製本も含まれている。
3. 全体を大きく「国書の部」と「漢籍・準漢籍の部」に分けた。各部の分類と配列は、「国書の部」については、概ね『内閣文庫国書分類目録』により、分類名は『国書総目録』の分類項目名を参考にした。「漢籍・準漢籍の部」については、「四部叢刊」の分類法を基本とし、『内閣文庫漢籍分類目録』の配列を参考にした。
4. 以下、概ね次の順序で書誌的事項を記した。
 - ①**通し番号** 本目録の対象とした207点の書目に対して、配列順に1～207の通し番号を付した。
 - ②**書名** 書名は、外題によることを原則とした。題簽の欠落や汚損などのため外題が判読できない場合は、適宜内題や柱刻などにより、その旨を備考に記した。書名はゴシック活字で示した。表記は当該本の表記を尊重したが、原則として漢字は現行の字体に直した。
 - ③**角書** 書名に角書がある場合は、書名の後に〔 〕に入れてやや小字で示した。
 - ④**編著者** 著作者・編纂者・原著者・訳者・校訂者などの名を示した。不明の場合は記さない。
 - ⑤**書型** 本の大きさ(型)を「大」(大本)・「半」(半紙本)・「中」(中本)・「小」(小本)・「横」(横本)の別でおおまかに示した。
 - ⑥**刊・写の別** 刊本(版本)の場合は「刊本」、写本の場合は「写本」と記した。
 - ⑦**装丁** 本の装丁について簡略に示した。通常の線装本は「袋綴」とし、「大和綴」「卷子」などの別を示した。厚みのある表紙のつかない本は「仮綴」とした。
 - ⑧**冊数** 当該本の冊数を示した。欠巻があったり合綴されたりしている場合も現状の冊数を記し、欠巻や合綴の状況は備考に示した。
 - ⑨**刊行・書写年** 刊本については刊年を、写本については書写年を示した。不確定な場合は「？」を付した。不明の場合は「刊年不明」「書写年不明」とした。
 - ⑩**版元・書写者** 刊本については版元(書肆名)を、写本については書写者名を示した。取扱書肆を多数列記する場合は代表的な書肆名を掲げ、「他○書肆」のように記した。書肆の所在地がわかる場合はそれを冠し、「板」「梓」など版元を示す記載はそれを添えて記した。
 - ⑪**保存状態** 保存状態に問題がある場合にのみ、「虫損」「少虫」「破」「汚」「疲」「浸」「痛」のよう示した。
 - ⑫**旧蔵印** 表紙や巻首などに捺された蔵書印などを「○○」印の形で示した(□は未判読文字)。
 - ⑬**備考** *印を付して、その他注意すべき事柄を適宜記した。残存状況、序跋者、書入の有無、初版刊行年などの情報である。引用中の／印は原文改行を示す。
 - ⑭**仮整理番号** 日南市が受け入れた際、仮に付けられた整理番号を項目の末尾に〈 〉に入れて示す。この番号は1冊ごとに振られているため、1～527までである。1点が複数冊から成る場合は、〈○～○〉、または〈○、○〉のよう示した。〈127〉「通俗三国志・卷之十二」は現物所在未確認である。

国 書 の 部

(1) 学 問・思 想

A 思 想

- 1 **修身論 後篇** ウェーランド著、阿部泰蔵訳、市川清流校 半 刊本 袋綴 1冊 東京／和泉屋市兵衛刊 虫損 「南那珂郡楠原村土族守永宗介蔵書印」印 (巻首・巻尾)。*後篇巻一1冊のみ存。〈508〉

B 漢 学

- 2 **靖献遺言** 浅見綱斎著 大 刊本 袋綴 3冊 京都／風月荘左衛門発行 少虫 *8巻3冊揃。年時不記浅見安正跋。各冊前見返に「根井村蔵」と朱書。中冊前見返に「鹿児府求之」と朱書。上部欄外に朱書入あり。外題直書。〈88〉

C 考 証

- 3 **妖幻夜話** 稲葉正邦編か 半 刊本 袋綴 1冊 「飯田蔵書」印 (巻首・巻末) *刊記なし。孔版印刷。国会図書館現蔵写本1冊の翻刻。〈497〉
- 4 **水虎説** 安部竜著、壬生書院編集部編輯 半 刊本 袋綴 1冊 昭和14年(1939)発行 東京／壬生書院 「飯田蔵書」印 (巻首・巻末) *「未刊・稀覯書叢刊 第一輯」。孔版印刷。帝国図書館蔵写本1冊の翻刻。絵入り。〈496〉
- 5 **靈獸雜記** 蔦酒家主人纂、壬生書院編集部編輯 半 刊本 袋綴 3冊 昭和14年(1939)発行 東京／壬生書院 *3巻3冊。「未刊・稀覯書叢刊 第一輯」。孔版印刷。万延元年(1860)蔦酒家のあるじ序。「飯田蔵書」印 (巻首)。狐に関する説話・伝承などを諸書より抜き書きしたもの。〈493〉
- 6 **天狗名義考** 諦忍(妙龍)述 半 刊本 袋綴 1冊 「飯田蔵書」印 (巻首・巻末)。*刊記なし。宝暦4年(1754)刊本の翻刻。宝暦4年(1754)沙門海雲序、延享2年(1745)興正住空華子(諦忍)自序。寛延3年(1750)元誓専龍似雲跋。巻尾に解説・著者略伝あり。〈495〉
- 7 **煙草の日本伝来** アーネスト・エム・サトウ述、宇賀田為吉訳 半 刊本 1冊 浸 *洋紙洋装活字本。巻尾に「昭和六年九月／学会月報より」と墨書。後補表紙に書名直書。〈515〉

(2) 仏 教

- 8 **如雲紫笛道人不二法門** 拙堂(如雲舎紫笛)著、紫鬢編 大 刊本 袋綴 1冊 安永9年(1780)刊 京都／山本長兵衛、八文字屋仙次郎、炭屋勘兵衛、美濃屋治右衛門 虫損 *禅宗。安永7年(1778)叟明子蘭序。外題は題簽の剥がれた跡に「如雲紫道人不二法門」と直書するが、「笛」字脱。書名は巻首題による。序題・柱題「不二法門」。〈509〉

(3) 文学

A 読本

- 9 **通俗三国志** 湖南文山著 大 刊本 袋綴 30冊 元禄5年(1692)刊 京都/吉田三郎兵衛・栗山伊右衛門刊行 虫損・疲・破 *首巻と巻之一～五十の全51冊の内、巻之十五～巻之三十九、巻之四十一、巻之四十六～巻之四十八、巻之五十の30冊存(首巻、巻之一～十四、四十、四十二～四十五、四十九の21冊を欠く)。但し、仮整理番号〈127〉「通俗三国志・巻之十二」は現物の所在が確認できないが、おそらくこの本の一部と見られる。巻之二十表紙後補、外題は墨書。その他の外題は朱で直書。巻之十六前見返裏(内側)に「小玉与平、五十ノ内」と墨書。巻之三十六表紙に「小玉与平」、裏表紙に「五拾冊之内/所持/小玉與平」と墨書。〈(127)128～158〉
- 10 **通俗十二朝軍談** [列国史] 李下散人 大 刊本 袋綴 14冊 正徳2年(1712)刊 大坂/敦賀屋九兵衛・吉文字屋市兵衛・柏原屋清右衛門・河内屋喜兵衛 虫損・疲・破 「小與」墨印(巻首)。*14巻14冊揃。正徳2年(1712)中西兵序。同年井上為定序。同年松井宗序。刊記に「三都發行書林」として、江戸/須原屋茂兵衛・同伊八・山城屋佐兵衛・西宮彌兵衛・岡田屋嘉七・岡村庄助・永楽屋東四郎・英屋大助・京都/吉野屋仁兵衛・名古屋/菱屋藤兵衛・大坂/河内屋喜兵衛・同和助の12書誌名列記。第14冊巻尾に李下散人識語あり。「赤新」印(貸本屋印・巻首)。第1冊巻首に「新本古本売買所 かし本」大坂/赤穂屋新兵衛の広告あり。傷み激しく展開困難。目録題「通俗列国志前編」「通俗列国志十二朝軍談」、巻首題「通俗列国十二朝軍談」、巻尾題「通俗列国」。〈158～171〉(但し、171、158～170の順)
- 11 **絵本伊賀越孝勇伝** 速水春暁斎著 半 刊本 袋綴 6冊 虫損 「日州/飢肥本町東角/呉服小間物/小玉與兵衛/(丸に小の字をあしらった商標)」印(前後見返) *7巻7冊のうち巻之二を欠く6冊存。享和2年(1802)可也麿序。各冊前見返に「七冊之内」と墨書し「㊦与改」印。〈232～236、241〉
- 12 **絵本忠臣蔵** 速水春暁斎著 半 刊本 袋綴 9冊 虫損・疲 *10巻10冊のうち巻之十一冊欠の9冊存。寛政12年(1800)石野忠頼序。丸に小の字をあしらった商標墨印(各冊前見返)。「拾冊之内/小玉与兵衛」(各冊後見返)、「小玉與平」(第1・4冊後見返)と墨書。〈238〉(但し、239、240、246、247、242、243、244、245の順)
- 13 **絵本忠臣蔵 後篇** 速水春暁斎著 半 刊本 袋綴 10冊 文化5年(1808)刻成 江戸/西村孫六・鶴屋喜右衛門・京都/長村太助・銭屋利兵衛・長村半兵衛・梅村伊兵衛・菱屋孫兵衛・大坂/扇屋利助・和泉屋源七・今津屋辰三郎・河内屋太助 少虫 *10巻10冊揃。文化4年(1807)南豊序。丸に小の字をあしらった商標墨印(各冊前見返)。巻首題・巻尾題「絵本忠臣蔵後篇」。〈237～256〉(但し、237、249、250、251、252、253、254、248、255、256の順)
- 14 **青砥藤網模稜案** 曲亭馬琴編述、手塚盛寿編集 中 刊本 袋綴 3冊 明治16年(1883)御届東京/辻岡文助出版 虫損・傷 「飯田蔵書」印(前見返・巻首)。*4巻4冊のうち巻之二(前集巻之三～五)、巻之三(後集巻之上)、巻四(後集巻之下)の3冊存。和装活字本。綴じ糸切れ。傷み激し。〈471～473〉

- 15 **里見八犬伝** 〔南総〕 曲亭馬琴著 半 冊子・刊本 7冊 明治26年(1893)発行 東京／今古堂発兌 *第4輯～第9輯第11套までの7冊(義之巻、禮之巻、智之巻、忠之巻、信之巻、孝之巻、悌之巻)存(第1輯～第3輯欠)。和装活字本。扉題・巻首題・巻尾題「南総里見八犬伝」。〈225～231〉

B 小説

- 16 **春雨文庫 初編** 〔開明小説〕 松村春輔編輯、大久保春驪校訂 中 刊本 袋綴 1冊 虫損 *全7編のうち初編上1冊のみ存。実録小説。明治9年(1876)細雨園春驪序。巻頭に淡彩色口絵あり。見返題に「桜雨園社中蔵版」とあり。〈484〉
- 17 **佳人奇遇 初編一二** 東海散士著 大 写本 袋綴 1冊 *8編16巻のうち初編1・2巻を写した。政治小説。明治18年(1885)有松楼主人隈山序、同年東海散士自序。同年金玉均跋。朱・墨の書入あり。巻尾に「読佳人奇遇 紫山逸才之」と識語あり。巻首題・巻尾題・跋題「佳人之奇遇」。薄様紙。〈512〉

C 随筆

- 18 **和漢故事文選** 薜遊燕編 大 刊本 袋綴 1冊 虫損 *巻之六1冊のみ存。表紙に「岩切彦之丞」、前見返に「津屋原村／岩切庄太郎／岩切庄左太郎」、後見返に「興陽／道介」と墨書。〈62〉
- 19 **柳橋新誌** 成島柳北戯著 半 刊本 袋綴 1冊 明治7年(1874)刊 東京／山城屋成吉(奎章閣)発行 「啓道社印」印(巻首)。*初編1冊のみ存。漢文随筆。安政(6年か)自序。後見返に「古雲堂主」と墨書。〈485〉
- 20 **駿台雑話** 室鳩巢著 半 刊本 大和綴 1冊 明治27年(1894)初版発行、明治31年(1898)5版 東京／小川尚栄堂・辻本尚古堂 *活字本。〈113〉
- 21 **枕草子春曙抄** 〔訂正増補〕 北村季吟著、鈴木弘恭訂正増補 上・中・下3冊のうち上巻1冊のみ存。半 刊本 袋綴 1冊 明治26年(1893)出版、明治31年(1898)8版 東京／青山清吉発行 *和装活字本。随筆注釈。巻首に淡彩色画。明治26年(1893)黒川真頼序。同年鈴木弘恭緒言。巻末に「青山堂蔵版現今製本発売書目」を載せる。〈483〉

D 評論

- 22 **愚哲論集** 飯田蟻通収集 大 写本 袋綴・仮綴 1冊 明治39年(1906)写 古雲洞主人(飯田洞敬)写 少虫 *奥書に「于時明治参拾九年幾佐良キ廿日写之終ル／聊病中之筆ニテ字画明瞭ナラザルモ推読アレ／宮崎県宮崎郡佐土原町／古雲洞主人還歴之翁」、「親ノ汗息子湯水ニスル勿レ／人子ニ遺ス金満倉我ガ子ニ遺ス此ノ一冊」とあり。〈434〉

E 漢文

- 23 **謝選拾遺** 頼襄子成(山陽)選、頼立斎校 大 刊本 袋綴 1冊 虫損 「霞海」印(巻首)。*7巻合1冊。嘉永2年(1849)牧輓序。同年頼綱(立斎)跋。末尾脱落あり、刊記も脱落か。外題は後補表紙に「頼山陽先生撰／謝選拾遺」と直書。〈481〉

F 漢詩文

- 24 **回天詩史** 藤田彪斌卿(東湖)録 大 刊本 袋綴 2冊 虫損 *乾・坤2冊。刊記なし。安政3年(1856)原忠敬跋。跋文の後に墓碑銘を載せる。下巻末に「大光寺／耕口軒」と墨書。下巻は裏打ちあり。上巻巻首に蔵書印の切り取りあり。下巻前見返に「おしまるゝ時ちりてこそ／世中も／人も人なり華もはななり」と墨書。(522～523)

G 和歌

- 25 **古今和歌集** 小 刊本 袋綴 1冊 虫損 *巻第十一～二十1冊のみ存。外題欠。書名は巻首題による。裏表紙、後見返欠。刊記なし。(445)
- 26 **新古今和歌集** 大 刊本 袋綴・仮綴 4冊 寛政11年(1799)刊 江戸／須原屋善五郎、須原屋安兵衛、前川六左衛門 虫損・疲 *20巻4冊揃。4冊とも前後表紙欠。第2冊、第4冊は後補題簽に外題直書。他は外題なし。第1冊巻首に仮名序、第4冊巻尾に真名序あり。菅原快見版下書。(446～449)
- 27 **万葉考** 賀茂真淵著述 大 刊本 袋綴 6冊 明和5年(1768)発行、天明5年(1785)求板 江戸／柏原屋金兵衛、浪速／柏原屋源兵衛梓 虫損 *全10冊のうち一～六の6冊存。第2冊末に刊記あり。巻一見返題に「撰都書房 前川文栄堂梓」とあり。第6冊末に明和6年(1769)尾張黒生識語あり。虫損激しく展開困難。(438～443)
- 28 **人麻呂集** 大 刊本 袋綴 1冊 大阪／前川善兵衛 虫損 *文政7年(1824)長瀬真幸跋。刊記に「文栄堂蔵版」とあり。虫損激しく展開困難。27「万葉考」の連れと見られる。(444)
- 29 **法忍律師歌詠** 法忍詠 半 刊本 袋綴 1冊 虫損 *外題は後補題簽に直書。嘉永6年(1853)薇園居士序。同年嗜痴子跋。巻頭に「法忍律師略伝」(嘉永6年 何某)を置く。後見返に「元治元子ノ五月二日／從江戸於大駕様より至来／青江」と墨書。嘉永7年(1854)盤谷山蔵版の刊記のある本と同版とみられるが、本書には刊記なし。(480)
- 30 **勸進歌法語** 忍阿和尚吟 半 刊本 袋綴 1冊 虫損 *刊記なし。巻頭に「教化文」(忍阿)を置く。明治3年(1870)某跋。見返題・柱刻に「盤谷山蔵」とあり。(482)
- 31 **新題林和歌集** 半 刊本 袋綴 13冊 少虫 *全16巻16冊のうち巻第二(春歌中)、巻第十一(恋歌上)、巻第十六(雑歌下)3冊欠の13冊存。類題和歌集。第4冊、第5冊、第13冊後見返に「此主／澤」と墨書。第1冊、第15冊後見返に「さは改／谷」と墨書。(450～462)
- 32 **三玉和歌集類題** 松井幸隆編 中 刊本 袋綴 7冊 元禄9年(1696)発行、寛政4年(1792)再板 浪華／葛城長兵衛 虫損 *7巻7冊(春部、夏部、秋部、冬部、恋部、雑部上、雑部下)揃。外題は後補題簽に直書(雑部上は外題欠)。元禄9年(1696)蜂谷又玄子跋。春部・夏部後見返に「谷」、恋部後見返に「たに」、雑部上「谷改口垣」と墨書。「三玉集」(跋題)。(464～470)
- 33 **和歌布留能山ふ美** 城戸千楯編 中 刊本 袋綴 1冊 虫損 *4巻4冊のうち巻之二(秋の部・冬の部)1冊のみ存。歌学書。外題欠。書名は巻首題による。(463)

H 俳 諧

- 34 **続今人五百題** 涉壁為山輯 小 刊本 袋綴 1冊 弘化2年(1845)刊 江戸／萬笈堂英大助板 虫損 *上・下2冊のうち下巻1冊(秋の部・冬の部)のみ存。後見返に「三書発行書林」として京都／出雲寺文次郎、大阪／河内屋喜兵衛、秋田屋太右衛門、江戸／岡田屋嘉七、山城屋佐兵衛、須原屋茂兵衛、須原屋伊八、英大助の8書肆名を列記。巻首題「続今人五百題発句集」。〈474〉
- 35 **発句集** 大 刊本 袋綴 1冊 虫損・疲 *各集句合を綴じ合わせたもの。年時不明。数種類の書入あり。表紙に「親父君仲讓物也／他見不許／発句集／古雲主人」と墨書。「発句集」を書名とみなす。前遊紙に「他見無用／君仲主人／二代／古雲主人」と墨書。〈475〉
- 36 **新類題発句集** 蝶夢編 中 刊本 袋綴 3冊 安永3年(1774)刊 西村源六、西村市郎右衛門、井筒屋庄兵衛、橘屋治兵衛 虫損 *5巻5冊のうち夏之部、冬之部。雑部の3冊存。巻尾に「蕉門俳書略目録 書林 井筒屋庄兵衛・橘屋治兵衛」2丁あり。1・2冊目後表紙に「古雲堂／蔵書」と墨書。第1冊外題欠。〈476～478〉
- 37 **俳諧五百題** 祖郷撰、卜早校 小 刊本 袋綴 1冊 明治20年(1887)翻刻出版 東京／松崎半造 *上・下2巻2冊のうち下巻1冊のみ存。外題欠。〈479〉
- 38 **うづら衣評釋** 佐々政一著 半 刊本 袋綴 1冊 明治32年(1899)刊 東京／明治書院 *「近代文学評釈第壹編」。俳文集・注釈。和装洋紙活字本。明治32年(1899)自序。巻末に「横井也有と其俳文と」を付す。鶉衣前編上・下2巻の評釈。〈510〉

(4) 歴 史

A 年 表

- 39 **和漢年契** 増補大成 蘆屋山人著、荒井半蔵補 大 刊本 袋綴 1冊 安政2年(1855)大成増補重鐫 大阪／奈良屋長兵衛・伊丹屋善兵衛・伊予屋善兵衛・秋田屋太右衛門 「飯田蔵書」印(巻尾)、「川添石橋」印(抹消)(巻首・巻尾)。*康熙綴。寛政9年(1797)新鐫、文化2年1805年改正、同13年(1816)補正、天保2年(1831)再鐫。見返題に「安政丙辰(1856)春大成増補重鐫」、「大坂書肆 宣英堂梓」とあり。寛政8年(1796)三村其原序。文政13年(1830)荒井公廉跋。〈172〉

B 雑 史

- 40 **北条九代記** 〔鎌倉〕 浅井了意著? 大 刊本 袋綴 12冊 延宝3年(1675)刊 梅村彌右衛門 虫損 *12巻12冊揃。年時不記無記名序。第4・10・11の3冊は元題簽あり、他の9冊は後補題簽に「北條九代記 一(～十二)」と打付書。目録題・巻首題・巻尾題「鎌倉北条九代記」〈213～224〉

C 戦 記

- 41 **朝鮮征伐** 大 写本 袋綴 2冊 万延元年(1860)写 小玉與兵衛写 虫損 *全3冊のうち

第3冊欠。全27巻のうち第17巻まで存（第1冊第一～第九、第2冊第十～第十七）。五目綴。外題なし。書名は扉題による。扉に「三冊之内」とあり。各冊末に「万延元庚申年写之／小玉與兵衛」と奥書あり。総目録題・巻首題「朝鮮征伐軍記」〈173〉

42 **武田三代軍記** 片島武矩（大野武範）著 大 刊本 袋綴 17冊 虫損 *22巻22冊のうち巻之十一、十二、十九、二十一、二十二の5冊を欠く17冊存。正徳5年（1715）片島深淵子（武矩）自序。傷み激しく展開困難。目録題「甲源武田三代軍記」。〈175～191〉

43 **前太平記** 元亭子、藤元撰著 大 刊本 袋綴 21冊 痛 *総目録、巻一・二、巻三・四、巻五・六、巻七・八、巻九・十、巻十一・十二、巻十三・十四、巻十五・十六、巻十七・十八、巻十九・二十、巻二十一・二十二、巻二十三・二十四、巻二十五・二十六、巻二十七・二十八、巻二十九・三十、巻三十一・三十二、巻三十三・三十四、巻三十五・三十六、巻三十七・三十八、巻三十九・四十の40巻21冊揃。刊記なし。各冊前見返に「田原氏」と墨書。傷み激しく展開困難。〈192～212、但し196、195、197、198、199、200、201、202、203、204、205、206、207、192、193、208、209、210、211、194、212の順〉

44 **応仁記三篇** 高井蘭山編 大 刊本 袋綴 4冊 虫損・疲 「飯田蔵書」印（巻首）。*5巻5冊のうち巻之四1冊欠。刊記なし。文政9年（1826）高井蘭山自序。巻首題・巻尾題・総目録題「絵本応仁記三篇」、序題「絵本重編応仁記三篇」。〈267～270〉

D 史 論

45 **読史余論** 新井君美（白石）著、萩原裕構成 半 刊本 袋綴 1冊 万延元年（1860）刊 青蒟蒻開雕 虫損 *巻一1冊のみ存。外題は題簽に直書。安政5年（1858）萩原裕公寛序。巻首に墨印あり（未判読）。〈271〉

E 伝 記

46 **近藤瓶城翁傳** 近藤圭造編 大 刊本 袋綴 1冊 *和装活字本。刊記なし。明治44年（1911）三上惨次序。明治45年（1912）近藤圭造緒言。綴じ糸切れ。〈519〉

F 記 録

47 **【日記】** 大 写本 袋綴・仮綴 1冊 虫損・疲 *明治20年代から40年代頃の医師飯田洞敬による業務上の記録類を綴じたもの。書名は受入リストにある仮書名。〈272〉

(5) 地 理

48 **江戸繁昌記** 寺門静軒著 半 刊本 袋綴 5冊 天保3年（1832）新鐫（初篇）、天保5年（1834）新鐫（二篇、三篇）、天保7年（1836）新鐫（五篇） *初編、二篇、三篇、五篇と後期初編の5冊存。刊記なし。見返題に「克己塾蔵版」とあり。外題は表紙カバーに「江戸繁昌記 一篇（二篇・三篇・五篇）」、「繁昌記 六篇」と直書。裏表紙に「古雲洞/蔵書」と墨書（五篇のみ「古雲堂主」と墨書）。巻尾題「繁昌記」、第5冊巻首題「繁昌後記」、第5冊巻尾題「江戸繁昌後記」。〈486～490〉

(6) 政治

- 49 **本佐録** 伝本多正信著 大 写本 袋綴・仮綴 1冊 慶応元年(1865)写 飯田洞敬写 虫損
*巻尾に「于時慶應元年八月三日延岡雲琴室南／楼之上ニ而倉率之写故不分明ナル所多シ御覧之御方様ハ意ヲ用ヒテ御推誦之程奉希上候 飯田洞敬主人」と墨書。裏表紙に「古雲洞蔵書」と墨書。虫損激し。〈521〉

(7) 風俗

- 50 **艶道俗説弁** 不知足(小松屋百亀)輯 大 刊本 袋綴 1冊 昭和11年(1936)覆刊 広島／小早河書店発行(非売品)「飯田蔵書」印(巻尾)*5巻1冊。謄写印刷。癸丑(明和6年、1769年か)不知足山人自序。巻之三は朱刷り、他は藍刷り。巻首に板本の写真と土肥寛平の解題あり。見返題に「悦丸梓」とあり。〈518〉
- 51 **笑ふ女** 本名／売春婦異名集 宮武外骨編纂 大 刊本 袋綴 大正10年(1921)初版、大正14年(1925)再版、昭和4年(1929)3版 東京／成光館出版 「飯田蔵書」印(巻首・巻尾)*和装活字本。大正10年(1921)宮武骸骨自序。〈520〉

(8) 教育

A 教育

- 52 **弘道館学則** 弘道館編 大 刊本 袋綴 1冊 弘道館発行 虫損 〈99〉
- 53 **弘道館記** 弘道館編 大 刊本 袋綴 1冊 弘道館発行 虫損 〈100〉

B 教訓

- 54 **甘棠編 十章** 矢尾板梅雪編? 大 写本 袋綴・仮綴 1冊 少虫 「南那珂郡楠原村士族守永宗介蔵書印」印(巻首・巻尾)。「葛蘭亭」?印(巻首)*「治広公への御書」から始まり「思ひの尽」で終わる。巻尾に「治憲公(上杉鷹山)」の伝記あり。〈110〉
- 55 **和論語** 伝清原良業等撰 大 刊本 袋綴 10冊 寛文9年(1669)刊 京都／尾張屋勘兵衛 少虫 *10巻10冊揃。一(神明部)、二(人皇并親王部)、三(公卿部上)、四(公卿部下)、五(武家部上)、六(武家部下)、七(貴女部)、八(釈子部上)、九(釈子部中)、十(釈子部下)。年時不記無署名序。寛永某年洛東山隠士羽林長蕭子跋。刊記に「弘所」として京都／山本長兵衛・海老屋弥兵衛の2書肆を記す。〈257~266〉

C 心学

- 56 **心学道の話** 奥田寿太(頼杖)講話、平野橘翁聞書 半 刊本 袋綴 8冊 江戸／須原屋茂兵衛・山城屋佐兵衛・岡田屋嘉七・京都／菱屋孫兵衛・大坂／柏原屋武助・敦賀屋久兵衛・敦賀屋彦七・豊田屋宇左衛門 「飯田蔵書」「古雲堂楽局」「飯洞」印(巻尾)*初篇~八篇各上・中・下3巻合1冊の24巻8冊。天保14年(1843)上河明序。〈91~98〉

57 **手嶋道話** 手島堵庵著、上河正楊校 中 刊本 袋綴 1冊 明治25年(1892)出版、明治33年(1900)16刷 大阪／岡本仙助、岡本宇野、北島長吉 「古雲堂調剤所」印(後見返) *後見返に「于時明治参拾九年／暮春念五日／熊本県葦北郡水俣村ニ於テ求之／古雲洞主人／還暦年」と墨書。(511)

D 学校教科書

58 **小学読本 第一** 師範学校編輯(田中義廉編輯、那珂通高訂正) 半 刊本 袋綴 1冊 明治16年(1883)出版 大阪／南谷新七翻刻出版 疲・破 *第一1冊のみ存。学校教科書。表紙に「明治十五年十月改正／文部省刊行」とあり。巻尾に「明治拾八年二月於志布志購之」とあり。(102)

59 **小学読本 卷二** 〔翻刻〕 文部省編纂(田中義廉編輯、那珂通高訂正) 中 刊本 袋綴 1冊 明治11年(1878)出版 大坂／柳原喜兵衛(積玉圃) 「飯田蔵書」印(前遊紙) *卷二1冊のみ存。学校教科書。洋装洋紙活版印刷。表紙に「明治七年八月改正」とあり。(101)

60 **小学読本 卷之四** 師範学校編輯(田中義廉編輯、那珂通高訂正)、榊原芳野校 半 刊本 袋綴1冊 明治7年(1874)刊? 東京／山中市兵衛翻刻 虫損・疲 「南那珂郡楠原村土族守永宗介蔵書印」印(表紙・巻首・巻尾) *卷之四1冊のみ存。学校教科書。見返題に「明治七年八月改正／文部省刊行」とあり。巻尾に「守永玉緒」と墨書。(105)

61 **小学読本 卷之五** 半 刊本 袋綴 1冊 明治8年(1875)出版 名古屋／加藤正兵衛・東京／水野慶次郎・木村文三郎 「南那珂郡楠原村土族守永宗介蔵書印」印(表紙・巻首・巻尾)、「飢肥小学」印(巻首・巻尾)。*卷之五1冊のみ存。学校教科書。見返題に「東京 小学教館蔵」とあり。(104)

62 **小学読本 卷五** 原亮策編輯 半 刊本 袋綴 1冊 明治20年(1887)出版 東京／金港堂 虫損・疲 *卷五1冊のみ存。学校教科書。見返題に「文部省検定済小学校教科用書／自明治二十年三月十七日／至明治廿五年三月十六日」とあり。(103)

63 **小学入門 乙号** 半 刊本 袋綴 1冊 *乙号1冊のみ存。学校教科書。表紙後補。外題直書。柱刻に「文部省」とあり。(107)

64 **修身初歩** 〔初等小学〕 小山庸太郎編輯 半 刊本 袋綴 2冊 明治14年(1881)刊 東京／山中市兵衛出板 虫損・疲 「南那珂郡楠原村土族守永宗介蔵書印」印(巻尾)。*巻の一・巻の三の2冊存。巻の一刊記に「有主／荒武宗一(末梢線あり)」「持主／守永宗介」と墨書。巻首題・巻尾題「小学修身初歩」(108)

65 **幼学綱要経語鈔** 吉川弘文館編集部著 半 刊本 袋綴 1冊 昭和12年(1937)4版 東京／吉川弘文館 *和装活字本。昭和9年(1934)文部省検定済中学校国語漢文科教科書。同年初版発行。扉題と巻尾に「宮内庁蔵版」とあり。(111)

66 **智慧の環** 〔絵入〕 古川正雄著、内田楓山書、八田小雲画 半 刊本 袋綴 1冊 明治3年(1870)刊 岡田屋嘉七 少虫 「小泉」(表紙)、「都城縣□□□(第十一?)郷校」印(巻首)。*初編上1冊のみ存。見返題に「初編上詞之巻」と朱印あり。表紙に「第八番」、裏表紙に「第八番／飢肥小学／守永」と墨書。(115)

67 **小学教授書** 〔官許〕 文部省編纂 半 刊本 袋綴 1冊 明治7年(1874)翻刻刊行 宮崎

果翻刻 疲 「飯田蔵書」印(巻首) * 教師用指導書。外題は題簽に墨書。角書は見返題にあり。柱刻に「師範学校」とあり。(106)

(9) 理 学

68 氣海観瀾 青地盈林宗述、篠田忠元順校 大 写本 袋綴・仮綴 1冊 明治3年(1870)写 飯田洞敬写 虫損・破・疲 * 物理。文政8年(1825)青地盈林宗凡例。奥書に「于時明治三庚午 / 秋八月二日 於鹿府写之 / 友朋延岡土々呂 / 本間推吉子加勢 飯田洞敬主人〈廿五才〉」と朱書。裏表紙に「古雲洞 / 蔵書」と朱書。(437)

(10) 医 学

A 医 学

69 古方翼 野間友真悛卿述、門人筆記 半 刊本 袋綴 1冊 大阪 / 河内屋喜兵衛 虫損 * 上・中・下3巻合1冊。刊記なし。寛政6年(1794)橘春暉序。寛政4年(1792)尾崎嘉跋。巻尾に「摂陽書林柳原積玉圃医書蔵版目録 河内屋喜兵衛」を付す。後補表紙に外題直書。虫損激し。(340)

70 古方選 隆菴小野常建子業輯 横 刊本 袋綴 1冊 少虫 * 薄様紙。刊記なし。宝暦11年(1761)緒方修序、宝暦12年(1762)望三英序。安永元年(1772)熊阪邦(台州)跋。(341)

71 遠西方彙 安頓(アントン・独)著、婆都(バト・蘭)蘭訳、伊東貫齋(瑤川院)重訳、伊東健夫参校 中 刊本 袋綴 3冊 文久3年(1863)新鐫 江戸 / 和泉屋吉兵衛 浸 * 30巻3冊揃。一(巻一~九)、二(巻十~十八)、三(巻十九~三十)。薄様紙。文久元年(1861)伊東貞(貫齋)題言。同年同人凡例。見返題に「文久二壬戌晩秋新雕」、「原本紀元一千八百五十二年鏤行」、「廣胖堂蔵」とあり。柱刻に「廣胖堂」とあり。第3冊後見返に「明治元辰七月於東都日本橋求之 / 三冊之内 / 成名(二字抹消)」、「于時明治三庚午秋八月初三 / 於口府求之 / 飯田祠敬主人」、裏表紙に「三冊之内 / 古雲堂蔵書」と墨書。第3冊のみ表紙を紙で覆い、外題「遠西方彙 人」と直書。(349~351)

72 瘍科秘録 本間玄調(素軒)著 大 刊本 袋綴 5冊 文化4年(1807)刊 江戸 / 和泉屋金右衛門 虫損・傷み・破 * 10巻12冊のうち七、八之上、八之下、九、十の5冊存。虫損激しく、展開困難。第10巻末に「玉巖堂製本書目 和泉屋金右衛門」あり。後見返に「三都書物問屋」として、京都 / 勝村治右衛門、大阪 / 河内屋喜兵衛、江戸 / 須原屋茂兵衛・須原屋伊八・須原屋新兵衛・山城屋佐兵衛・岡田屋嘉七・和泉屋庄治郎・和泉屋金右衛門と9書肆名列記。柱刻に「自準亭蔵」とあり。(352~355、357)

73 瘍科秘録 本間玄調(和卿)著 大 刊本 袋綴 1冊 少虫 「得□□室」印(巻首) * 巻九1冊のみ存。柱刻に「自準亭蔵」とあり。(356)

74 瘍科方笈 華岡青洲著 大 写本 袋綴 1冊 慶応2年(1866) 飯田洞敬写 虫損・疲 * 巻頭に目録あり。目録には朱点を付す。欄外墨書書入あり。巻末に「于時慶応二丙寅仲冬於浪速中之嶋 / 華岡積軒先生外塾楽天斎東窓之下 / 写之 / 日佐藩 / 飯田洞敬 / 今年廿一歳」 「雖愚筆勝不寫乎 / 子孫勿廉略云々」と墨書。(358)

75 瘍科鎖言 半 写本 袋綴 1冊 文化12年(1815) 野中士敬写 虫損 * 上篇・下篇合1冊

- 版」と墨書。巻尾に「明治四年辛未夏五月／大学種痘幹事／大学中助教久我克明述」とあり。奥書に「明治九丙子稔／初冬十月初九写之者也（以上墨書）／青木宣満代筆（朱書）」とあり。後見返末に「古雲洞主人」と朱書。裏表紙に「古雲堂蔵書」と朱書。(388)
- 86 **他見無用** 半 写本 袋綴 1冊 少虫 *本文8丁のみ、以下白紙罫紙。眼科医書。巻首題「點洗法」(396)
- 87 **膏葉覚帳** 横 写本 袋綴・仮綴 1冊 虫損・疲 *下小口を折った綴じ方。本来中に「右拾方／華岡先生〈家方〉／三浦高支ヨリ伝フ」「明治廿五年／旧三月九日」等とあり。表紙に「他見不許」と墨書。裏表紙に「癸亥／秋九月／飯田洞敬／主十八才」と墨書、癸亥は文久3年(1863)。(397)
- 88 **養生決** 福光玄待松著 大 写本 袋綴・仮綴 1冊 文久2年(1862)写 関屋某写 虫損・浸 *嘉永7年(1854)種野村子民序。裏表紙に「于時文久二壬戌春東都芝田町／二丁目於御屋舖居小屋写之／関屋氏」と墨書。絵入り。巻尾に「題跋」あり。刊本「養生決語」の写し。序題「養生決語」。(398)
- 89 **続医断** 賀屋敬恭安(澹園)著 大 刊本 袋綴 1冊 文化8年(1811)刊 江戸／須原屋茂兵衛、大坂／秋田屋太右衛門、京／三河屋利兵衛、堺屋嘉七 虫損 *上・下合1冊。文化8年(1811)海保阜鶴鴉序、同年賀屋敬恭安自序。同年子郎跋、同年澤誼跋。柱刻に「澹園蔵版」とあり。巻尾に京都／堺屋嘉七の出版目録あり。(399)
- 90 **貼膏攷** 大 写本 袋綴・仮綴 1冊 元治元年(1864)写 飯田洞敬写 少虫 *奥書に「是豊後植村家之方也／于時元治元甲子年秋八月旬有三日／日向延岡城下中町雲琴室窓下二而同城下南町角自三浦玄昌夫子借り写ス、日州佐土原藩中医師 飯田洞敬主人、今秋十有九歳、此書到子孫不可廉未、他見不許入門者許見」と朱書。外題は「貼膏攷」とあるが「攷」は「攷」とみなす。(400)
- 91 **導水瑣言** 和田東郭口授、和田哲筆授 大 写本 袋綴・仮綴 1冊 慶応元年(1865)写 飯田洞敬写 虫損 *巻首題は「導水瑣言」と朱書。序なし。本文は刊本の第28丁までを書写。奥書に「于時慶応元稔／乙丑秋八月初八日／於延岡中町雲琴室南楼芸窓下写之／時及倉率誤字落字多シ讀者可用意／日州佐土原藩中／飯田洞敬／廿才」とあり。裏表紙に「古雲洞蔵書」と墨書。(401)
- 92 **導水瑣言** 和田東郭口授、和田哲筆授 大 刊本 袋綴 1冊 文化4年(1807)刊 京都／林喜兵衛発行 虫損 *文化2年(1805)源之熙(楮)亭序。巻尾・柱刻に「含章斎蔵」とあり。後見返に「慶応三年夏六月十六日／求之／飯田洞敬」と墨書。裏表紙に「古雲洞主人」と墨書。(402)
- 93 **経絡發明** 菊池玄蔵述 大 刊本 袋綴 1冊 宝暦3年(1753)刊 江戸／萬屋太次右衛門 虫損 「常直之印」印(巻首・巻尾) *外題は題簽に墨書。宝暦3年(1753)二宮政弼序、同年富正翼序、同年菊池周之自序、同年望三英序。年時不記堀本好跋。巻末に「東都書肆蘭香堂蔵版目録 萬屋太治右衛門」1丁あり。虫損激し。(403)
- 94 **鑿断** 吉益東洞述、鶴沖元逸(鶴田元逸)編 大 刊本 袋綴 1冊 京都／林宗兵衛刊 少虫 *刊記なし。外題は表紙カバーに「鑿断 全〈統編あり〉」と墨書。年時不記瀧長愷彌八序、年時不記原行子蔵序、延享4年(1747)鶴田元逸自序。宝暦2年(1752)吉益為則(東洞)跋、宝暦8年(1758)大江朝臣秋成(上田秋成)跋、宝暦9年(1759)中西惟忠跋。巻尾に「平安 斯文堂蔵書目録 林宗兵衛」1丁あり。後見返に「飯田洞敬主」と墨書。(404)

- 95 **西説医範提綱釈議卷之三** 宇田川榛齋訳述、諏訪士徳筆記 大 刊本 袋綴 1冊 文化2年(1805)原刻、弘化2年(1845)再刻 京都／勝村治右衛門、大坂／秋田屋太右衛門、河内屋喜兵衛、江戸／須原屋茂兵衛、須原屋伊八 虫損 *3巻3冊のうち巻之三1冊のみ存。表紙後補。外題直書。〈405〉
- 96 **寄奇方記** 原昌克玄瓊(南陽)著 大 写本 袋綴 1冊 虫損 「静学堂図書記」印(巻首)
*安永9年(1780)自序。文化10年(1813)南陽老人自跋。本編の後に「寄奇方記附録」を付す。附録の後に「此原山山城粟田郡酒井邨／医田口耕斉蔵書也写本／而誤字顛倒不少矣嘉永七／甲寅冬十月於酒井村病家／面会之刻乞貸而謄写之／誤字顛倒大略用意而正之／者也同十一月廿日卒業／原秀亮記」と識語あり。扉題「寄奇方記 附録」〈406〉
- 97 **博采方 内科門** 大 写本 袋綴 1冊 虫損 「静学堂図書記」印(巻首) *前見返裏に「雜方集」と墨書。〈407〉
- 98 **腹証奇覽 腹裡病状図** 稲葉湖南著 半 刊本 袋綴 1冊 享和元年(1801) 大和高田／本屋源左衛門、大坂／河内屋喜兵衛、塩屋平助 虫損 「飯田蔵書」印(巻首・巻尾) *上・下2巻2冊を合綴。寛政11年(1799)稲葉湖南自序。下巻末尾に「撰陽書肆高橋随柳軒医書品目 塩屋平助」1丁他あり。絵入り。〈409〉
- 99 **桂園雑話** 半 写本 袋綴 1冊 天保3年(1832)写 (関屋)子誠写 虫損 「三東礪」印(巻尾) *奥書に「天保三壬辰李冬於／東礪齊南樓／写之／子誠蔵」とあり。裏表紙にも墨書あり(判読困難)。外題は左上に直書。〈410〉
- 100 **方読弁解** 福井楓亭輯 半 写本 袋綴 2冊 虫損 「三東礪」印(巻首)。*5巻2冊(巻之一・二、巻之三～五)。外題は「薬徴 下」「薬徴 中」とあるが、錯誤とみて、書名は内題による。「薬徴」は吉益為則(東洞)の著(3巻3冊、天明5年刊)。朱筆書入あり。各冊前見返裏に「福井先生／方読弁解 一(三)」とあり。〈412〉
- 101 **方読弁解** 福井楓亭著 半 写本 袋綴・仮綴 1冊 疲 *巻之十一1冊のみ存。表紙に「方読弁解 十一大尾」とあり。福井楓亭著「方読弁解」は通常5巻5冊、本書はその巻之五にあたる。〈424〉
- 102 **秘伝薬方** 小 写本 袋綴 1冊 *後見返に「八ヶ町／飯田氏」と墨書。裏表紙に「清原姓」と墨書。欄外書入あり。巻首題「済衆堂家方」。〈414〉
- 103 **衆方規矩** 横 刊本 袋綴 1冊 虫損・疲 *刊記なし。「医療衆方規矩総目録」末尾に「定栄堂主人識」とあり。巻末に罫紙4丁を綴じ合わせ冒頭1丁半に「根井家方／東葦記」を筆写。裏表紙に「根井東庵口」、後見返に「根井楽水／授之」、背に「根井」と墨書。見返題「医療衆方規矩大成」、総目録題「医療衆方規矩」。〈299〉
- 104 **衆方規矩刪方** 北山道長(寿安)編 横 刊本 袋綴 1冊 虫損 *上・下2巻のうち巻之上1冊のみ存。表紙後補。外題は直書。元文2年(1737)刊2冊本の内か。〈418〉
- 105 **救民妙薬** 穂積甫庵著? 横 写本 袋綴 1冊 虫損・浸・疲 *元禄6年(1693)刊、穂積甫庵著「救民妙薬」の写しか。末尾数丁及び裏表紙欠。前見返に「下坂谷東谷寺ヨリ借用写之」とあり。〈420〉
- 106 **知幾葯言** 田宮尚施(禮卿)著 中 刊本 袋綴 1冊 虫損 *刊記なし。嘉永7年(1854)

- 本康德基序、同年彦麻呂序。同年浅田惟常(栗園)跋。著者・田宮尚施は薩摩の医官。序題「知幾菓言」(426)
- 107 **裁判医学提綱** 片山国嘉纂著 半 洋紙・活字本 1冊 明治17年(1884)出版(前篇)、明治16年(1883)出版(後篇) 東京/島村利助(発兌)、東京/丸屋善七、蓮沼善兵衛、大坂/松村九兵衛(売捌) *前篇・後篇2冊を合綴。和装活字本。表紙に「秋南書院蔵版」とあり。(428)
- 108 **小兒急性下痢ノ療法** 唐沢光徳著 半 洋紙・活字本 明治45年(1912)刊 東京/治療学社発行、東京/南江堂支店発兌 「飯田蔵書」印(巻首・巻尾)。「飯田」印(表紙) *洋装活字本。「臨牀医学叢書第五輯」。(429)
- 109 **济明図鑑并附録叙** 黒木千之著 大 写本 袋綴 1冊 文政2年(1819)写 根井玄琢兼篤、根井東菴良貞写 虫損 *享和元年(1801)奥田直行序。同年黒木千之跋。奥書に「右之書一子之外相伝固無用矣/根井玄琢兼篤謹而写/根井東菴良貞謹而写/文政二年/八月吉日写之」とあり。本編の後に「济明図鑑附録方論 已下諸症難以図解者凡二十餘條併共附于后」を付す。外題は序題をそのまま写したもの。序題「济明図鑑并附録」、巻首題「济明図鑑附録方論」(430)
- 110 **方的** 加藤謙斎(鳥巢道人)述、加藤玄順編 小(縦長) 刊本 袋綴 1冊 明和7年(1770)刊行、文化9年(1812)補刻 京都/風月荘左衛門、林権兵衛、林伊兵衛、林喜兵衛、山本長兵衛、浪速/勝村治右衛門、杉岡嘉助、前川嘉七 *薄様紙。本編末に「凡百九十五方 附方 五方 総二百方 畢」とあり。次に「附録/本邦老医伝」、「六経証治綱領」(鳥巢道人謙斎 輯録)、「補遺古方括要」(主篤菴 輯録)、「補遺古方括要五十方目」を付す。柱刻に「鳥巢堂蔵」とあり。後補表紙に「鳥巢道人謙斎述/方的」と外題直書。(431)
- 111 **方函** 浅野恭济(文龍)編輯、浅野文熙・文驥同校 中 刊本 袋綴 1冊 文化9年(1812)刻成 京都/葛西市郎兵衛、江戸/前川六左衛門、大阪/柳原喜兵衛 少虫 *天明元年(1781)浅野文虎子牙序。安永8年(1779)浅野文龍土雲(恭济)例言。見返題に「浪華書肆 柳原積玉圃」とあり。裏表紙に「飯田氏」と墨書。(432)
- 112 **諸家集集** 半 写本 袋綴・仮綴 1冊 少虫 *表紙に「根井寿昌主/兼村」と墨書。巻首・巻尾・裏表紙に戯れ書きあり。巻首題「経験集艸」(433)
- 113 **産前産後** [秘伝] 半 写本 袋綴・仮綴 合1冊 疲・虫損 *次項「眼目琢寿経験方」と合綴。表紙に「根井家/眼科拔書 根井寿菴」と墨書。「根井家秘伝」(巻首題)。(387)
- 114 **眼目琢寿経験方** 大 写本 袋綴・仮綴 合1冊 疲 *前項「産前産後[秘伝]」と合綴。表紙に「根井寿庵主」と墨書。(387)
- 115 **眼目明鑑** 杏林菴医生編 横 刊本 袋綴 1冊 宝永4年(1707)刊 江戸/出雲寺和泉 虫損 *5巻合1冊(「眼目明鑑」巻之一~四、巻之五として「眼目明鑑薬名修治触読」上・下巻)。年時不記 杏林菴医生序。表紙後補。外題は直書。巻尾に「飯田理菴主/代三匁五分」と墨書。(417)
- 116 **蕉窓雑話** 半 写本 袋綴 2冊 虫損 *一・二の2冊存。医学・随筆。第1冊後見返に「門川杏林」と墨書(抹消)、第2冊巻尾に「門川如徳庵」と墨書。(336~337、但し、337、336の順)
- 117 **蕉窓雑話** 大 写本 袋綴 1冊 文政10年(1827)写 虫損 「三東」印(巻首)等 *巻之三のみ存。医学・随筆。後見返に「文政十丁亥秋八月中旬於檜林南楼下写之」と墨書。(338)
- 118 **病因指南** [回春] 岡本一抱子撰 半 刊本 袋綴 8冊 元禄8年(1695)刊 京都/西村

- 市郎右衛門・同氏九左衛門、江戸／同氏半兵衛全梓 虫損・汚 * 7巻8冊揃。巻之一は上下2分冊。元禄8年(1695)三径逸士恭斎序。見返題に「搏桑帝城書肆載文堂繡梓」とあり。序題「病因指南」、目録題・巻首題・巻尾題「萬病回春病因指南」〈273～280〉
- 119 **医療手引草 上編** 勝謙齋烏巢(加藤謙齋)著、玄順懿之(加藤玄順)校補、尾崎正龍(元鱗)校正 中 刊本 袋綴 2冊 明和3年(1766)開版、明和9年(1772)再版 大阪／高田清兵衛・鳥飼市兵衛・浅野彌兵衛 虫損 * 乾・坤2巻2冊。年時不記松梅院法印全深序、宝暦13年(1763)貞菴序。巻首に「医療手引草題言」(盛塘)を置く。宝暦14年(1764)勝懿之跋。〈300～301〉
- 120 **医療手引草 中編** 勝謙齋烏巢(加藤謙齋)著、玄順懿之(加藤玄順)校補、尾崎正龍(元鱗)校正 中 刊本 袋綴 2冊 明和8年(1771)刊 京都／風月荘左衛門・高橋権兵衛・山本長兵衛・梅村三良兵衛・額田正三郎、大阪／鳥飼市兵衛・高田清兵衛・浅野彌兵衛 虫損 * 上・下2巻2冊。明和7年(1770)三上義従序。巻首に「謙齋先生伝略」を置く。柱刻に「烏巢堂蔵」とあり。〈302～303〉
- 121 **傷寒論正義** 吉益猷修夫著 大 写本 袋綴 1冊 虫損 * 欄外に字句訂正の書入あり。〈327〉
- 122 **傷寒論聞記** 大 写本 袋綴 1冊 文政10年(1827)写 関屋子写 虫損 * 後見返に「此書皆本書文通誤多／知斯処別本之説／文政十丁亥晩夏写之／関屋子識」と奥書あり。虫損激し。〈329〉
- 123 **傷寒吐則 附録** 浅田惟常(宗伯)著 大 刊本 袋綴 1冊 少虫 * 刊記なし。天保14年(1843)喜多村直寛序。嘉永6年(1853)中林清風跋。見返題に「栗園雑著之一」「勿誤薬室聚珍版」、柱刻に「勿誤薬室蔵」とあり。後見返に「安政元／門川杏仙」と墨書。〈330〉
- 124 **牛山先生活套** 啓益(牛山)著 大 刊本 袋綴 3冊 安永8年(1779)刊 大阪／浅野弥兵衛、京都／山田三良兵衛・葛西市良兵衛・河南四良右衛門・北村四良兵衛・山本平左衛門 虫損・破 * 上・中・下3巻3冊。安永7年(1778)知足散人序。同年木村桂菴跋。巻尾に「星文堂蔵版目録 医書／浅野弥兵衛」あり。前見返に「宇津宮相模」(各冊)、「飯田氏主」(巻下のみ)と墨書。柱題「牛山活套」〈331～333、但し331、333、332の順〉
- 125 **救急選方** 多紀櫟窓著 中 刊本 袋綴 2冊 江戸／萬笈堂蔵板 少虫 「醫貳」印(巻首) * 上・下2巻2冊。刊記なし。享和元年(1801)丹波(多紀)元簡自序。享和3年(1803)湯川元俵安道跋、文化7年(1810)多紀元胤奕祺跋。巻尾に「萬笈堂英平吉蔵版医書目録」あり。〈334～335〉
- 126 **【逸名医書】** 秋田大彦東龍著 半 写本 袋綴・仮綴 1冊 虫損 * 表紙に「乾／秋田大彦東龍之著／題号未詳」とあり。乾・坤2冊のうちの1冊か。〈393〉
- 127 **【逸名医書】** 中 写本 袋綴・仮綴 1冊 浸 * 表題なし。冒頭一項目には「赤痢方〈東京医事新誌八百八拾三号／長崎病院友田鉄太郎君〉」とあり。前後ともに表紙傷み激し。〈394〉
- 128 **【逸名医書】** 中 写本 袋綴 1冊 明治11年(1878)写 宝満写 少虫 * 表題なし。内題なし。朱点・朱字書入あり。本文の後に約30丁の白紙を置き、その後に「雑方」を見開き2面、3丁白紙を置き、その後にさらに本文が続く。奥書に「宝満九州肥後ニ遊学セシ時其病症ヲ審シ而／実験之法方ヲ撰捕而爰ニ举ク茲ニ明治十一戊寅夏日新先生東楼下ニ記ス」とあり。〈395〉
- 129 **【逸名医書】** 半 写本 袋綴 1冊 少虫・浸 * 外題・内題ともになし。冒頭に脱落ある

か。巻尾に「門川姓」と墨書。(411)

B 薬物

- 130 **丸散考** 華岡震(青洲)著 大 写本 袋綴・仮綴 1冊 慶応2年(1866)写 飯田洞敬写 虫損 *裏表紙に「古雲堂蔵書」と墨書。寛政2年(1790)華岡震伯行(青洲)序。序題「丸散便覧」、巻首題「丸散方考」(295)
- 131 **丸散方** 華岡震(青洲)著 大 写本 袋綴・仮綴 1冊 慶応2年(1866)写 飯田洞敬写 虫損・浸 *裏表紙に「古雲堂主人」と墨書。目次題・巻首題「春林軒丸散録」。(296)
- 132 **薬品手引草** 加地井高茂編 中 刊本 袋綴 2冊 安永7年(1778)刊 大阪/柏原屋清右衛門・本屋清左衛門・吉文字屋市兵衛 少虫 *不分巻上・下2冊。いろは順薬名辞典。安永7年(1778)海又玄序、安永6年(1777)加地井高茂自序。(297~298)
- 133 **新方彙** 半 写本 袋綴 1冊 疲・浸 「飯田蔵書」印(巻首・後見返) *「新方彙」「楚璞続書」「天真楼薬方」「諸家秘録」「春林軒膏方便覧」「膏方附録」「春林軒丸散録」から成る。欄外に墨書書入あり。後見返に「賀屋恭安先生住居長州萩城下呉服町菊屋/横丁 熊谷順庵子住處防州佐波郡右田」、「他より譲受 飯田輝夫/探古堂」と墨書。(339)
- 134 **類聚方廣義** 尾臺逸士超(榕堂)撰 中 刊本 袋綴 1冊 安政3年(1856)刻成 江戸/山城屋佐兵衛、大阪/河内屋喜兵衛・風月荘左衛門・勝村治右衛門・小川多左衛門・山本長兵衛・神先宗八・藤井孫兵衛、京都/小林庄兵衛・永田調兵衛・朝倉義助・田中好次郎・浦井五一郎・林芳兵衛・出雲寺文次郎 少虫 *凡例の後に「類聚方廣義題言十則」(嘉永6年 男武)を置く。宝暦13年(1763)武欽絲序、宝暦12年(1762)吉益為則自序(以上「類聚方」序)。年時不記藤益軌凡例、宝暦12年(1762)山常卿跋、年時不記新崎国林跋(以上「類聚方」跋)。見返題に「皇都 書肆全刻」とあり。後補表紙に外題直書。序題・凡例題「類聚方」(342)
- 135 **類聚方廣義** 尾臺逸士超(榕堂)撰 中 刊本 袋綴 1冊 安政3年(1856)刻成 江戸/山城屋佐兵衛、大阪/河内屋喜兵衛・風月荘左衛門・勝村治右衛門・小川多左衛門・山本長兵衛・神先宗八・藤井孫兵衛、京都/小林庄兵衛・永田調兵衛・朝倉義助・田中好次郎・浦井五一郎・林芳兵衛・出雲寺文次郎 少虫 *薄様紙。巻頭に「類聚方廣義題言十則」(嘉永6年 男武)を置く。宝暦13年(1763)武欽絲序、宝暦12年(1762)吉益為則自序(以上「類聚方」序)。年時不記藤益軌凡例、宝暦12年(1762)山常卿跋、年時不記新崎国林跋(以上「類聚方」跋)。見返題に「皇都 書肆全刻」とあり。外題直書。序題・凡例題「類聚方」(343)
- 136 **観聚方** 丹波元簡廉夫(多紀元簡)輯 中 刊本 袋綴 3冊 江戸/須原屋茂兵衛・山城屋佐兵衛・岡田屋嘉七・和泉屋金右衛門、三重/山形屋傳右衛門、京都/吉野屋仁兵衛、愛知/永楽屋東四郎・菱屋藤兵衛・菱屋平兵衛、大阪/河内屋喜兵衛板 少虫 *10巻3冊揃。一(巻一~三)、二(巻四~六)、三(巻七~十)の3分冊。薄様紙。見返題に「浪華書林 文栄堂・積玉圃」とあり。柱刻に「聿修堂蔵版」とあり。総目録題・目録題・巻首題・巻尾題・柱題「観聚方要補」。(344)
- 137 **観聚方要補** 丹波元簡廉夫(多紀元簡)輯、孫元昕兆燾参訂 中 刊本 袋綴 2冊 文政2年(1819)新刻、安政4年(1857)参訂再刻 江戸/須原屋茂兵衛・和泉屋金右衛門 少虫 *10巻2冊揃。薄様紙。後補表紙に外題直書。見返題に「安政四年丁未刊」「聿修堂蔵版」とあり。見返題

- 柱刻に「聿修堂蔵版」とあり。第1冊後見返に「戊午首夏下旬／於医学館多紀安常求之／根井東庵蔵書」、第2冊前見返に「於武陽求之／根井東庵蔵書」と墨書。〈347～348、但し348、347の順〉
- 138 **紅毛流膏藥** 吉雄永章（耕牛）訳撰、吉雄育萬校正 半 写本 袋綴・仮綴 1冊 虫損・破
「濟衆堂記」印（巻首） *巻首題「紅毛流膏藥方」。〈408〉
- 139 **膏藥** 横 写本 袋綴・仮綴 1冊 虫損 *「津軽先生家膏藥方」と「桂川先生家膏藥方」から成る。巻尾に「右者両先生家必要之膏方其他方／数雖多常不用者略之」とあり。〈419〉
- 140 **妙藥記** 半 写本 袋綴・仮綴 1冊 虫損・疲 *草稿本。〈421〉
- 141 **【逸名医書】** 横 写本 袋綴・仮綴 1冊 少虫 *巻首に「外科」と表題して目録を置き、「南蛮流散藥事」以下「膏藥事」までの項目を記す。次に「外科 癰疔疽一切諸藥拔書」と表題して「抱藥」から「小瘡藥」までの項目を一つ書きで記す。その後に「秘術妙伝方 血縛也／銘金龍散手負／産後 一之口伝」と表題して一つ書きの項目を記す。〈422〉
- 142 **【逸名医書】** 半 写本 袋綴 1冊 虫損 *朱筆書入あり。後見返に「村角氏」と墨書。〈427〉

C 本草

- 143 **廣益本草大成** 岡本為竹一抱子撰 半 刊本 袋綴 2冊 元禄11年（1698）京都／小佐治半右衛門宗貞開板 少虫 *全23巻を巻一～九、巻十～二十三の2冊に合綴。「廣益本草大成」（巻一～九）・「[図画] 和語本草綱目〈第拾巻ヨリ第廿参巻迄〉」（巻十～二十三）と外題墨書。元禄11年（1698）鈴木宗因序。同年鈴木宗春跋。各前見返に「本書、元ハ式拾参巻拾冊／ヨリ成ル合シテ式冊トナス／飯田輝夫」と飯田輝夫による墨書あり。柱題「和語本草」〈305・308〉
- 144 **大和本草** 貝原篤信（益軒）編録 半 刊本 袋綴 18冊 宝永6年（1709）刊 京都／永田調兵衛 虫損 「飯田蔵書」印（巻首・巻尾） *本編16巻のうち巻三欠、附録巻一・二合冊、諸品図上・中・下3冊のうち下冊欠の18冊。宝永5年（1708）鶴原韜序、同年貝原篤信自序。巻首題・巻尾題「大倭本草」、目録題・柱題「大倭艸草」。〈309～326〉
- 145 **巻懐食鏡** 香月牛山輯述 中 刊本 袋綴 1冊 明和3年（1766）再板 京都／茨城多左衛門（柳枝軒）、田中庄兵衛（九汲堂）合刻 *外題は後補題簽に直書。正徳6年（1716）松岡恕庵成章序、同年香月牛山自序。巻尾に「巻懐灸鏡」を付す。末尾に「平安柳枝軒刊刻医書目録」あり。〈416〉

(11) 芸術

A 書画

- 146 **古今書画家印鑑譜／改訂古今書画家一覧表** 1枚 昭和12年（1937）発行 大阪／増井文英堂 発行 破 *表裏印刷の一枚物。鳥の子紙。「印鑑譜」は印影部分朱刷り。〈517〉

B 書道

- 147 **紫薇字様** 細井弘沢著 大 刊本 袋綴 2冊 享保9年（1724）刊 京都／柳枝軒茨城多左衛門

- 門蔵版、江戸／小川彦九郎 虫損 *上・下2巻2冊揃。享保4年(1719)物茂卿(荻生徂徠)序。正徳4年(1714)廣澤知慎序。享保元年(1716)廣澤知慎凡例。〈116〉
- 148 **玉華帖** 廣澤井慎(細井知慎)書 大 刊本 袋綴 1冊 享保16年(1731)刊 江戸／新兵衛 梓 虫損 *六目綴。陰刻。巻尾に須延の識語あり。〈120〉
- 149 **千字文** 廣澤(細井知慎)書 大 刊本 袋綴 1冊 享保19年(1734)刊 江戸／嵩山房／須原新兵衛発行 *享保17年(1732)原之清序。裏表紙に「古雲堂主人」と墨書。〈123〉
- 150 **千字文** 廣澤老人(細井知慎)書 大 刊本 袋綴 1冊 明和9年(1772)再刻 小林新兵衛・須原茂兵衛発行 虫損 *陰刻。元版は享保17年(1732)江戸嵩山房発行。巻尾に「元文四年己未(1739)八月 須原新兵衛」とあり。元文4年(1739)赤城山人田章跋。前見返に「根井氏」と朱書、「文政三秋七月調之／日向国中之部眼科／根井玄緑孫／兼光主」と墨書。上部欄外に片仮名の書入あり。〈121〉
- 151 **獨樂園記** 廣澤慎(細井知慎)書 大 刊本 袋綴 1冊 宝暦3年(1753)刊 京都／平井千裁房蔵板 少虫 *陰刻。〈382〉
- 152 **和文章** 董堂先生書 大 刊本 袋綴 1冊 文化3年(1806)重鐫 江戸／須原屋孫七梓 虫損 *享和2年(1802)北條士伸序。巻尾に「飯田氏」と墨書。前見返に月の異名の書入あり。〈122〉
- 153 **旧拓鄭文公碑** 大 刊本 袋綴 2冊 昭和5年(1930)5版 上海／文明書局 *上・下2巻2冊。陰刻。中華民國14年(1925)初版。〈118〉
- 154 **孫過庭書譜衍釋 一名芸術書論** 樋口勇夫(銅牛)著 半 刊本 袋綴 1冊 大正13年(1924)発行 晚翠軒・井上清秀発行 *和装活字本。書論・注釈。〈513〉

(12) 諸 芸

A 華 道

- 155 **活花大意 非其人則/不得之也** [抜粹] 大 写本 袋綴・仮綴 1冊 明治32年(1899)写 飯田洞敬写 虫損 「飯洞」印(後見返) *後見返に「于時明治参拾貳亥歳晚春念五日 抜写之／宮崎郡佐土原八日町／古雲洞主人」と墨書。〈514〉

B 易 学

- 156 **古易断時言** 新井白蛾著 半 刊本 袋綴 4冊 明和8年(1771)新刻 大坂／野彌兵衛蔵板 虫損 「□岡図書画」印(巻首) *4巻4冊(内編・元首～禎首)。明和8年(1771)葛阪高道昂伯起序、明和6年(1769)新井祐登謙吉(白蛾)自序。年時不記新井白蛾凡例。明和8年(1771)田中白賁跋。見返題に「浪華書肆 星文堂梓」とあり。〈524～527〉

C 遊 戯

- 157 **銃獵新書** 十文字信介著 中 明治24年(1891)初版、明治31年(1898)7版 十文字商会獵具館 *洋装洋紙活字本(並製)。外題は表紙カバーに直書。遊獵(狩獵)。明治29年(1896)峯雪生序、

- 明治24年(1891)村田経芳序、明治31年(1898)千石温序、同年十文字信介自序。年時不記東海散士柴四朗跋、明治31年(1898)飯嶋魁跋。跋文の後に「附録」あり。巻尾に「青木宣満子送書／古雲洞主人」と墨書。裏表紙に「明治参拾参歳／一月吉旦／飯田蔵／青木氏賜物也」と墨書。〈516〉
- 158 **秘事百撰 後篇** 福井智徳斎著述 中 刊本 袋綴 1冊 嘉永5年(1852)求板 大阪／河内屋源七郎、伊丹屋善兵衛 虫損 *後篇1冊のみ存。絵入り。後見返に「万延元年(1860)申六月廿九日延岡ニ而求之／十五才」と墨書。〈494〉

D 囲碁

- 159 **置碁自在** [石立稽古] 服部因淑著 大 刊本 袋綴 10冊 江戸／須原屋伊八 少虫 「飯田」印(巻首・巻尾)。「飯田蔵書」印(一・二後見返)。「古雲堂落屋」印(十後見返) *全10冊揃。一(二目之部全)、二(三目之部全)、三(四目之部上)、四(四目之部下)、五(五目之部上)、六(五目之部下)、七(六目之部全)、八(七目之部全)、九(八目之部全)、十(九目之部全)。七・十は外題欠。文政7年(1824)長沼亮郷序。年時不記服部因淑凡例。〈498～507〉

漢籍・準漢籍の部

(1) 経部

A 詩類

- 160 **詩経** 山崎嘉点 山崎闇斎点 大 刊本 袋綴 2冊 虫損 *2巻2冊。刊記なし。柱刻に「嘉永改正」「薩摩府学蔵版」とあり。後見返に「八日町／飯田蔵書」と墨書。第1冊巻首題・第2冊巻尾題「毛詩」。〈45～46、但し46、45の順〉

B 礼類

- 161 **家礼** 大 刊本 袋綴 2冊 佐土原／学習館蔵版 虫損 *5巻2冊揃。巻頭に「家礼序」あり。巻尾に天保2年(1831)島津久徳跋。上巻後見返に「飯田」「飯田氏」、下巻前見返に「八日町／飯田氏」、下巻裏表紙覆いに「古雲堂蔵書」と墨書。〈54、57〉
- 162 **家礼** 大 刊本 袋綴 1冊 佐土原／学習館蔵版 少虫 *5巻1冊。巻頭に「家礼序」あり。前見返に「飯田七美主」、後見返に「飯田氏」と墨書。〈55〉
- 163 **家礼** 通冠昏／喪祭 大 刊本 袋綴 1冊 佐土原／学習館蔵版 少虫 *5巻1冊。巻頭に「家礼序」あり。巻尾に天保2年(1831)島津久徳跋。前見返に「八日町／飯田氏」、後見返に「飯田七美主人」と墨書。〈56〉

C 孝経類

- 164 **絵本孝経** 東都蕙齋先生画 半 刊本 袋綴 1冊 文化10年(1813)發兌 浪花／松村久兵衛、

江戸／前川六左衛門・小林新兵衛、尾張／北野東四郎 虫損 ＊準漢籍。後見返に小林新兵衛の出
版目録あり。〈47〉

D 四書類

- 165 **四書正解 大学** 〔説約合叅〕 大 刊本 袋綴 2冊 虫損 ＊2巻2冊揃。「四書大全説約合
叅正解」巻之一～巻之二。第1冊巻頭に「四書正解序」あり。朱・墨の書入・付箋等あり。巻首題
「四書大全説約合叅正解」。〈15〉
- 166 **大学章句** 大 刊本 袋綴 1冊 虫損 「倭板四書」(柱刻)のうち、第1冊。柱刻に「山崎
嘉点」とあり。巻頭に「大学章句序」あり。後見返に「飯田蔵書」と墨書。巻首題「大学」。〈22〉
- 167 **大学俗解** 大 刊本 袋綴 5冊 貞享2年(1685)刊 京都／永田長兵衛開板 虫損・疲
＊5巻5冊揃。準漢籍。後見返に「飯田昌斎」「五巻之内／良純持主」と墨書あり。巻首題「大学章
句俗解」。〈17〉
- 168 **四書正解 中庸** 〔説約合叅〕 大 刊本 袋綴 3冊 少虫 ＊3巻3冊揃。「四書大全説約合
叅正解」巻之三～巻之五。第1冊巻頭に「中庸章句序」(朱熹)あり。第1冊・第2冊裏表紙覆いに
「日州佐土原藩中／飯田洞敬／主人」と墨書。朱・墨の書入・付箋等あり。巻首題「四書大全説約
合叅正解」〈40・41・44、但し41、40、44の順〉
- 169 **中庸章句** 朱熹章句・山崎闇齋点 大 刊本 袋綴 1冊 安政5年(1858)再板 佐土原／学
習館蔵板 少虫 ＊「倭板四書」(柱刻)のうち。柱刻に「山崎嘉点」とあり。巻頭に「中庸章句序」
あり。巻末に朱熹の跋あり。後見返に「幽谷春田蔵」と墨書。巻首題「中庸」。〈42〉
- 170 **中庸章句** 朱熹章句・山崎闇齋点 大 刊本 袋綴 1冊 虫損 ＊「倭板四書」(柱刻)のう
ち。柱刻に「山崎嘉点」とあり。巻頭に「中庸章句序」あり。巻末に朱熹の跋あり。巻首題「中庸」。
〈43〉
- 171 **四書正解 論語** 〔説約合叅〕 大 刊本 袋綴 10冊 虫損 ＊20巻10冊揃。五目綴。「四書大
全説約合叅正解」巻之六～巻之十五。裏表紙覆いに「佐土原藩医師／飯田洞敬」と墨書。朱・墨の
書入・付箋等あり。巻首題「四書大全説約合叅正解」。〈5～14、但し7、8、5、6、9、10、11、
14、12、13の順〉
- 172 **論語集註** 朱熹集註・山崎闇齋点 大 刊本 袋綴 4冊 虫損 ＊10巻4冊揃。「倭板四書」
(柱刻)のうち。柱刻に「山崎嘉点」とあり。第1冊巻頭に「読論語孟子法」あり。前後見返に「八
日町／飯田氏」、「飯田氏」等の墨書あり。巻首題・巻尾題「論語」。〈1～4、但し1、4、2、3
の順〉
- 173 **四書正解 孟子** 〔説約合叅〕 大 刊本 袋綴 15冊 元禄10年(1697)刊 京都／天王寺屋
市郎兵衛好廷蔵梓 虫損 ＊15巻15冊揃。「四書大全説約合叅正解」巻之十六～巻之三十。第3冊以
降の裏表紙覆いに「日州佐土原藩中／飯田洞敬(莞爾とも)／主人」と墨書。朱・墨の書入・付箋等
あり。巻首題「四書大全説約合叅正解」。〈23～37、但し36、37、30、31、33、32、34、35、23、24、
28、29、25、26、27の順〉
- 174 **孟子集註** 朱熹集註・山崎闇齋点 大 刊本 袋綴 1冊 虫損 ＊巻之三～六(公孫丑～滕文
公)の1冊のみ存。「倭板四書」(柱刻)のうち。柱刻に「山崎嘉点」とあり。後見返に「幽谷春田

蔵」と墨書。巻首題・巻尾題「孟子」。〈38〉

- 175 **孟子集註** 朱熹集註・山崎闇斎点 大 刊本 袋綴 1冊 安政5年(1858)再板 佐土原／学習館蔵板 虫損 *巻之十一～十四(告子～盡心)の1冊のみ存。「倭板四書」(柱刻)のうち。柱刻に「山崎嘉点」とあり。巻首題・巻尾題「孟子」。〈39〉

E 小学類

- 176 **三字経** 半 刊本 袋綴 1冊 天明7年(1787)新刻 京都／額田正三郎・葛西市良兵衛・浪花／松村久兵衛・葛城長兵衛 虫損・疲・破 *外題直書。見返題に「乾隆戊戌(1778)新鐫」「皇和天明丁未(1787)新刻 平安書肆額田一止人蔵梓」とあり。裏表紙に「飯田蔵書」と墨書。〈114〉

(2) 子部

A 儒家類

- 177 **小学 内篇** 大 刊本 袋綴 1冊 少虫 *巻頭に「小学題辞」「小学序」あり。前見返に「慶応二年正月吉日／八日町／飯田七美主人／拾三歳」「八日町／飯田氏」、後見返に「飯田七美主」等、裏表紙覆いに「古雲堂蔵書」と墨書。〈50〉
- 178 **小学 内篇** 大 刊本 袋綴 1冊 少虫・汚 巻頭に「小学題辞」「小学序」あり。表紙・見返に落書き多し。巻尾に「嘉永二己酉年日向佐土原於学習館調是者也 清原通義(花押)」と墨書。〈49〉
- 179 **小学 外篇** 大 刊本 袋綴 1冊 佐土原学習館蔵版 少虫 *前見返に「飯田七美主」、後見返に「飯田氏／飯田七美」と墨書。〈48〉
- 180 **小学 後藤点** [新刻改正] 天台陳選・句読 半 刊本 袋綴 1冊 虫損 *全4冊のうち巻之五1冊のみ存。後見返に「米」印あり。〈51〉
- 181 **近思録** 大 刊本 袋綴 2冊 万延2年(1861)再板 佐土原／学習館蔵板 少虫 *14巻2冊揃。寛文10年(1670)山崎嘉敬義序。〈52、53、但し53、52の順〉
- 182 **説苑** 劉向著、程榮校 大 刊本 袋綴 5冊 江戸／須原屋茂兵衛・尾張／永楽屋東四郎「飯田蔵書」印(巻首) *20巻5冊揃。各冊外題欠、書名は巻首題による。第1冊後見返に「飯田氏」と墨書。〈81〉
- 183 **劉向説苑纂註** 程榮校、関嘉(進次)纂註 大 刊本 袋綴 10冊 寛政6年(1794)新鐫 片野東四郎 少虫 *20巻10冊揃。寛政6年(1794)紀徳民序。寛政5年(1793)岡田挺之跋。見返題に「興芸館蔵」とあり。第10冊巻尾に永楽屋東四郎蔵版目録あり。各冊表紙に朱筆で「釋受草祥卅本」とあり。見返題「劉向説苑」、序題「説苑纂註」。〈71～80、但し72、73、74、75、76、77、78、71、79、80の順〉
- 184 **学的上** 丘濬編 大 刊本 袋綴 1冊 虫損・破 *1冊のみ存。表紙・巻首・巻尾欠落(第2丁から第74丁まで存)。書名不明だが、柱刻に「学的上」とあるのによる。朱子学書か。〈112〉

B 医家類

- 185 **脉経** 王淑和編輯、袁表類校、沈際飛重訂、龔居中官定 大 刊本 袋綴 7冊 慶安3年(1650)刊 京都/村上平樂寺開板 虫損 *序・目録、卷之一・二、卷之三、卷之四、卷之五・六、卷之八、卷之九・十の7冊存(卷之七欠)。年時不記沈際飛天羽序、以下各時代の序文を集成。〈361~367〉
- 186 **脉影図説** 王叔和編輯、沈際飛重訂 大 刊本 袋綴 1冊 虫損 *上・下2巻2冊のうち、卷之上のみ存。外題は後補題簽に直書。虫損激し。巻首題「人元脉影帰指図説」。〈436〉
- 187 **医学入門** 李梴(南豊)編 大 刊本 袋綴 9冊 慶安4年(1651)刊 少虫 「飯田蔵書」印(巻尾) *首巻、一卷(内集巻之一)、二巻(内集巻之二)、又二巻(内集巻又二)、三巻(外集巻之三)、四巻(外集巻之四)、五巻(外集巻之五)、六巻(外集巻之六)、七巻(外集巻之七)の全9冊。全面裏打ち補修、後補表紙あり。万暦4年(1576)李梴自序。巻首題・巻尾題「編註医学入門」。〈368~376〉
- 188 **原機啓微** 薛己著、郭顯恩校 大 刊本 袋綴 1冊 虫損 *巻之上・下2巻・附録合1冊。刊記なし。外題は後補題簽に直書。朱点・朱引きあり。後見返に「古雲堂主人」と墨書。〈384〉
- 189 **傷寒論** 張仲景著、王淑和撰字 大 刊本 袋綴 1冊 虫損 *第1冊のみ存。後補表紙に外題直書。正徳5年(1715)伊藤長胤序、同年香川修徳秀菴序。巻首に「傷寒雜病論集」(張機)を置く。柱刻に「順受居蔵」とあり。朱筆書入あり。〈328〉
- 190 **醒医六書温疫論** 呉有性又可甫撰、黄晟暁峯校刊 中 刊本 袋綴 1冊 享和2年(1802)刊 浸 *上・下2巻と補遺から成る。外題は後補題簽に直書。享和2年(1802)恬淡真人(山崎真人)序、崇禎15年(1642)呉有性原序。見返題に「経験四種清本翻刻」、「尾張 恬淡居蔵」、刊記に「恬淡居蔵」とあり。後見返に「鬼束氏」と墨書。序題「温疫論」、引題・目録題「醒医六書瘟疫論」、巻首題・巻尾題「瘟疫論」。〈425〉
- 191 **痘科鍵** 朱巽嘘萬著、朱鳳台慎人訂、楊大成集之纂、楊大経石袍較 大 刊本 袋綴 4冊 少虫 *上・下2巻4冊(各巻2分冊)。刊記なし。享保15年(1730)医官長春院武于龍叔安序、年時不記袁元北海序、年時不記朱鳳台慎人自序。享保15年(1730)医官望月三英跋。巻下末に「麻疹」を付す。序題「痘疹医書」「痘症鍵」。〈389~392〉
- 192 **活幼心法** 久吾聶尚恒著 中 刊本 袋綴 1冊 虫損 *上・下2巻1冊。刊記なし。後見返に「新庄氏蔵本」、裏表紙に「新粧氏ヨリ/於門川求之/根井玄□□/生□□譲ル」と墨書(虫損のため範読困難)。目録題・巻首題・巻尾題「痘疹活幼心法」。〈423〉
- 193 **食物本草約言** 薛己編輯、燕志学校正 大 刊本 袋綴 1冊 虫損・浸 *巻之三1冊のみ存。巻尾に蔵書印あり(未判読)。〈304〉
- 194 **増訂本艸備要** 休寧汪訥菴著輯 中 刊本 袋綴 2冊 享保14年(1729)刊 京都/植村藤治郎梓行、江戸/植村藤三郎、大坂/植村藤三郎 虫損 「江村」印(巻首)。「口雞」印(前遊紙裏・後見返) *上・下2巻2冊。康熙33年(1694)休寧汪訥菴序。享保14年(1729)藤井以求子見隆跋。上巻前遊紙に「天保十四(1843)卯正月延岡調之/此書子孫(不可根井元琢主/軽求之有苦可考/二冊之内)」と墨書。表紙に「根井元琢主」と墨書。〈306、307〉
- 195 **千金方** 孫真人撰 大 刊本 袋綴 1冊 虫損・破・疲 *序・目録1冊のみ存。前後表紙

欠。書名は柱題による。序題「新刻千金方」、目録題「孫真人備急千金要方」。〈415〉

- 196 **萬病回春** 金谿雲林龔廷賢子材編輯 大 刊本 袋綴 8冊 万治3年(1660) 京都／林傳左衛門尉板行 虫損・疲 「飯田蔵書」印(巻首)。* 8巻8冊揃。万暦16年(1588) 帰安鹿門茅坤序、万暦15年(1587) 臨川繼峯餘化序、同年金谿龔廷賢序、万暦16年(1588) 王崑湖勤烙跋序。閩門書林葉龍溪重刊本。虫損・傷み激し。巻一のみ前面裏打ち補修。朱・墨の書入多し。巻首題「新刊萬病回春」。〈286～293〉
- 197 **萬病回春** 金谿雲林龔廷賢子材編輯 横 刊本 袋綴 5冊 天和3年(1683) 刊 山田六左衛門開版 虫損 * 7巻7冊のうち巻之一・巻之四を欠く5冊存。二(弟集)、三(忠集)、五(禮集)、六(義集)、七(廉集)の5冊。万暦25年(1597) 王崑湖勤烙跋。金陵書坊対峰周刊行本。虫損・傷み激し。巻首題「新刊萬病回春」。〈281～285〉
- 198 **萬病回春** 金谿雲林龔廷賢子材編輯、余一卷増補、余昌宗校梓 半 刊本 袋綴 1冊 虫損・破・汚 * 忠集巻之三1冊のみ存。唐本。外題剥落により判読不能。前遊紙に「万病回春」と墨書。傷み激し。巻首題「五刻増補萬病回春」。〈294〉

C 雑家類

- 199 **蒙求** 服部南郭考訂 大 刊本 袋綴 3冊 明和4年(1767) 再板 江戸／植村藤三郎・並河善六、京都／梅井藤兵衛 虫損・疲 * 上・中・下3巻3冊揃。元文4年(1739) 服元喬(服部南郭)序。朱・墨の書入多し。序題「新刻蒙求」。〈58～60〉
- 200 **菜根譚** 還初道人洪自誠著、覚迷居士汪乾初校、林瑜孚尹重校 半 刊本 袋綴 2冊 京都／川勝徳次郎 * 前集・後集全2冊。文政5年(1822) 蓀坡林瑜序。年時不記三峰主人于孔兼題詞。〈86、87、但し87、86の順〉

D 類書類

- 201 **日記故事大全** 張瑞図校、鎌田環斎再校 半 刊本 袋綴 3冊 浪華／窓旭堂・文会堂合梓 虫損 「飯田蔵書」「飯洞」印(各冊巻首・巻尾) * 全7巻を上・中・下の3冊に収める。天保2年(1831) 赤松栄序。同年筱崎弼序。刊記に発行書房として江戸／須原屋茂兵衛・山城屋佐兵衛・岡田屋嘉七・菱屋孫兵衛・敦賀屋九兵衛・敦賀屋彦七・象牙屋治郎兵衛の7書肆名列記。序題「再刻日記故事」、目録題・巻首題「新鍔類解官様日記故事大全」。〈124〉

E 釈家類

- 202 **禪海十珍** 沙門道需集 大 刊本 袋綴 1冊 元禄8年(1695) 刊 京都／書肆名不記 虫損・浸 * 後補表紙に「集禪戒十珍 完 元禄八年」とあるが、誤り。書名は巻首題等による。康熙26年(1687) 道需自序。序題「集禪海十珍」。〈435〉

(3) 集部

A 総集類

- 203 **文選正文** 服部南郭句読、兼山先生国読、葛山寿校、久保謙重訂 大 刊本 袋綴 1冊 虫損
「飯田蔵書」印(巻首) *巻之一1冊のみ存。題簽剥がれ、外題欠。後見返に「共十三」と墨書。
(61)
- 204 **古文前集** [標註補正] 大 刊本 袋綴 1冊 安政2年(1855)新鐫 江戸/須原屋茂兵衛・
山城屋佐兵衛・須原屋新兵衛・和泉屋吉兵衛・岡田屋嘉七・和泉屋金右衛門・須原屋伊八・京都/
勝村次右衛門・丸屋善兵衛・大坂/秋田屋太右衛門 少虫・疲 *前集上・中・下巻合1冊。外題
欠、書名は見返題による。安政2年(1855)海老名恒跋。見返題に「改正訓点」「浪華 宋榮堂梓」
とあり。巻首題・巻尾題「魁本大字諸儒箋解古文真宝」。〈67〉
- 205 **古文後集** 大 刊本 袋綴 2冊 虫損 *上・下2巻2冊揃。巻上後見返に「根井時二郎兼
政(花押)」、巻上裏表紙覆いに「禍生於懈惰/孝衰於妻子/飯田莞爾/書」と墨書。巻下の前見返
に「嘉永三戊五月改書主也/根井□□□/龜末ニスヘカラズ/重之候」、巻下裏表紙覆いに「言忠信
/行篤敬/飯田莞爾/書」と墨書。序題・柱題「古文真宝」、巻首題・巻尾題「魁本大字諸儒箋解
古文真宝」。〈68〉
- 206 **古文真宝 改正訓点** [標註補正] 大 刊本 袋綴 1冊 元治元年(1864)刊 江戸/須原屋
茂兵衛・山城屋佐兵衛・岡田屋嘉七・和泉屋吉兵衛・須原屋伊八・和泉屋金右衛門・京都/勝村次
右衛門・名古屋/永楽屋東四郎・大坂/秋田屋太右衛門 少虫 *後集巻之下1冊のみ存。安政5
年(1858)浪華四書房主跋。文政6年(1823)原刻。安政5年(1858)再刻、「大阪書林/秋田屋太
右衛門/堺屋新兵衛/加賀屋善蔵/伊丹屋善兵衛」とあり。巻首題・巻尾題「魁本大字諸儒箋解古
文真宝」。〈70〉

B 尺牘類

- 207 **尺牘雙魚** 寅幾熊著 大 刊本 袋綴 4冊 承応3年(1654)刊 虫損 *9巻4冊揃。年
時不記陳繼儒序。第1冊・第2冊のみ朱・墨の書入多し。目録題・巻首題・巻尾題「新鐫増補較正
寅幾熊先生尺牘雙魚」。〈63~66〉

【付記】日南市立小村記念館等学芸員の長友禎治氏には、蔵書の閲覧調査に際してさまざま便宜をはかっていただき、飯田病院ならびに飯田家に関して多くの御教示を賜りました。厚く御礼申し上げます。また、書誌情報の入力にあたっては、広島大学大学院文学研究科博士課程後期の菊本麗・北原沙友里両氏の協力を得ました。とりわけ北原氏には、データの確認、原稿の作成に至るまで終始献身的な助力をいただきました。併せて深く感謝いたします。

〔書名索引〕

※目録上の書名を現代仮名遣いによる五十音順に配列した。

※書名の読みは、最も一般的と思われる読みに従った。

※書名に冠された角書は省略した。

※所在は、本目録において書名の頭に付した通し番号で示した。

※同一書名の場合は、通し番号順に配列した。

	あ		
		置碁自在	159
青砥藤網模稜案	14		
か			
	い		
医学入門	187	回天詩史	24
醫断	94	学的 上	184
〔逸名医書〕	126	佳人奇遇 初編一二	17
〔逸名医書〕	127	活花大意 非其人則／不得之也	155
〔逸名医書〕	128	活幼心法	192
〔逸名医書〕	129	家禮	161
〔逸名医書〕	141	家禮	162
〔逸名医書〕	142	家禮 通冠昏／喪祭	163
医方大成論	82	卷懐食鏡	145
医療手引草 上編	119	丸散考	130
医療手引草 中編	120	丸散方	131
		観聚方	136
		観聚方要補	137
	う	勸進歌法語	30
うづら衣評釋	38	甘棠編 十章	54
		眼目琢寿経験方	114
	え	眼目明鑑	115
江戸繁昌記	48	漢洋病名対照録	80
絵本伊賀越孝勇伝	11		
絵本孝経	164		
絵本忠臣蔵	12	氣海観瀾	68
絵本忠臣蔵 後篇	13	寄奇方記	96
遠西方彙	71	救急選方	125
艶道俗説弁	50	牛山先生活套	124
		旧拓鄭文公碑	153
	お	救民妙薬	105
応仁記三篇	44	玉華帖	148

如雲紫笛道人不二法門	8		ち	
諸家集集	112	智慧の環		66
食物本草約言	193	知幾葯言		106
心学道の話	56	中庸章句		169
新古今和歌集	26	中庸章句		170
新題林和歌集	31	朝鮮征伐		41
新方彙	133			
新類題発句集	36		つ	
		通俗三国志		9
す		通俗十二朝軍談		10
水虎説	4			
駿台雑話	20		て	
		手嶋道話		57
せ		天狗名義考		6
醒医六書温疫論	190	貼膏攷		90
説苑	182			
靖献遺言	2		と	
尺牘雙魚	207	痘科鍵		191
禅海十珍	202	導水瑣言		91
千金方	195	導水瑣言		92
千字文	149	読史余論		45
千字文	150	獨樂園記		151
前太平記	43			
			に	
そ		〔日記〕		47
増訂本艸備要	194	日記故事大全		201
続医断	89			
続今人五百題	34		は	
孫過庭書譜衍釋 一名芸術書論	154	俳諧五百題		37
		博采方 内科門		97
た		春雨文庫 初編		16
大学章句	166			
大学俗解	167		ひ	
大患図 完	84	皮下注射要略		77
武田三代軍記	42	秘事百撰 後篇		158
他見無用	86	秘伝薬方		102
煙草の日本伝来	7	人麻呂集		28

病因指南	118		よ	
			幼学綱要経語鈔	65
		ふ	瘍科鎖言	75
腹証奇覽 腹裡病状図	98		瘍科秘録	72
			瘍科秘録	73
		ほ	瘍科方笈	74
方鑑	78		妖幻夜話	3
方函	111		養生決	88
北条九代記	40			
方的	110			
方読弁解	100		り	
方読弁解	101		柳橋新誌	19
法忍律師歌詠	29		劉向説苑纂註	183
発句集	35			
本佐録	49		る	
			類聚方廣義	134
			類聚方廣義	135
		ま		
枕草子春曙抄	21		れ	
萬病回春	196		靈獸雜記	5
萬病回春	197			
萬病回春	198		ろ	
万葉考	27		論語集註	172
		み		
脉影図説	186		わ	
脉経	185		和歌布留能山ふ美	33
妙薬記	140		和漢故事文選	18
			和漢年契 増補大成	39
			和文章	152
		も	笑ふ女 本名／売春婦異名集	51
蒙求	199		和論語	55
孟子集註	174			
孟子集註	175			
文選正文	203			
		や		
薬品手引草	132			
大和本草	144			